

株式会社 メーサイ

2019年度環境経営レポート

(対象期間:2019年 8月~2020年 7月)



作成日 : 2020.9.30
更新日 : 2020.9.30

環境経営方針

<環境理念>

人類は、地球に息づく生命活動の一端を担っていますが、今日までに地球環境を破壊し汚染することでその生存を凶ってきました。昨今、生物多様性が論議されるように、人類の生命の維持が危うくなりつつあります。今日を生きる我々にとって微力ながらも身近な生活や会社での活動を通して、地球環境の保全を前提とした循環型社会を実践し、地球環境の健全化に少しでも貢献することに継続的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 廃棄物の削減に取り組むと共に、資源の再生利用を踏まえて分別に専念します。
4. 節水に心がけ、水使用量を必要最小限に留めるよう心がけます。
5. 事務所で用いる備品類の購入においては、グリーン調達に配慮します。
6. 現場作業並びに事務所での活動全般において、環境配慮を念頭においた行動をとります。

制定日：2010年11月2日

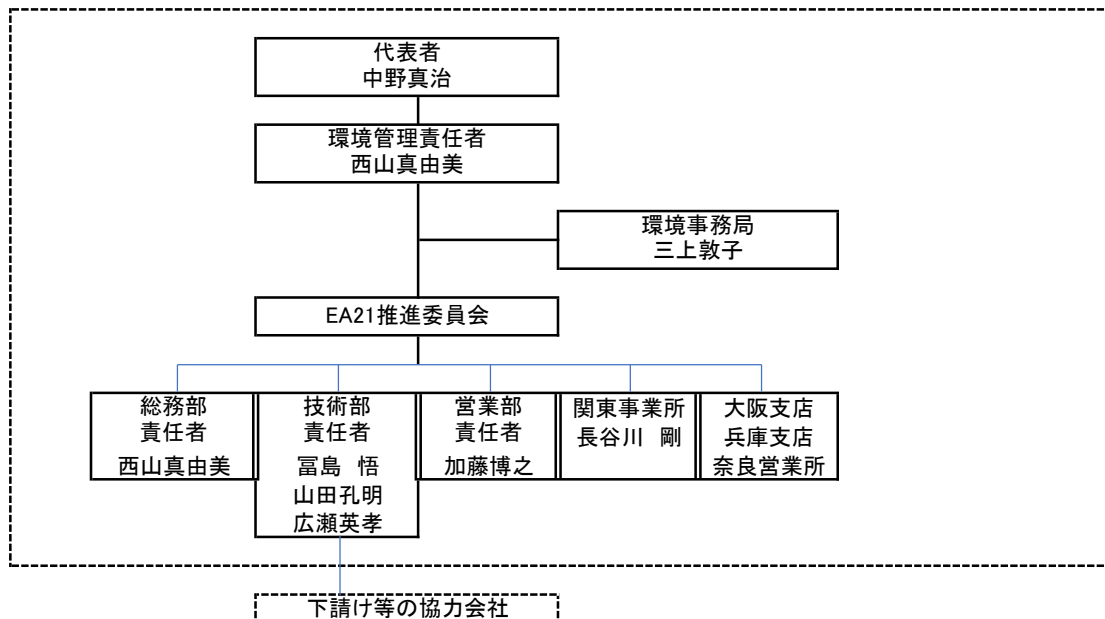
改定日：2020年8月1日

代表取締役 中野 真治

□実施体制の構築

作成者: 西山真由美
更新日: 2020年8月1日

株式会社メーサイ 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認 実施体制の構築
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、試行・訓練の実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 メーサイ
代表取締役社長 中野 真治
- (2) 所在地
本社 大阪府吹田市南吹田3丁目13番3号
倉庫 大阪府吹田市南吹田1丁目22番1号
関東事業所 神奈川県横浜市港北区新吉田町255-3
大阪支店 大阪府大阪市旭区大宮4丁目23番2号
兵庫支店 兵庫県神戸市東灘区森北町1-6-18-1
奈良営業所 奈良県天理市櫛本町3039-5
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 経営企画グループ 西山真由美 TEL: 06-6190-3371
担当者 経営企画グループ 三上敦子 TEL: 06-6190-3371
- (4) 事業内容
地質調査・解析業務・土壌汚染調査
- (5) 事業の規模
製品出荷額 9.2億円 (2019年度)
主要製品生産量 土壌汚染調査60%、一般調査40%
- | | 本社 | 倉庫 | 関東事業所 | 大阪支店 | 兵庫支店 | 奈良営業所 |
|-------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 従業員 | 46名 | 常勤無し | 4名 | 常勤無し | 常勤無し | 常勤無し |
| 延べ床面積 | 447 m ² | 204 m ² | 32 m ² | 23 m ² | 20 m ² | 20 m ² |
- ※支店、営業所の負荷は無視出来る程度
- (6) 事業年度 8月～7月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 メーサイ
本社
倉庫
関東事業所
大阪支店
兵庫支店
奈良営業所

活動: 地質調査・解析業務・土壌汚染調査

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年度 (基準年)	2018年度	2019年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	253,106	246,324	257,947
電力 ^{※1)}	kg-CO ₂	16,064	12,557	11,326
燃料	kg-CO ₂	237,042	233,767	246,621
廃棄物排出量	トン	80.4	55.0	68.1
一般廃棄物排出量	トン	2.2	2.3	2.2
産業廃棄物排出量	トン	78.2	52.7	65.9
総排水量	m ³	1,451	1,312	1,418
化学物質 ^{※3)}			適正管理	

※1) 電力の二酸化炭素排出係数: 各年次の関西電力の排出係数を適用。
2017年度 (0.418)、2018年度～2019年度 (0.334)

※2) 大阪支店、兵庫支店、奈良営業所は常勤は無く、負荷は軽微であるため、データは割愛している。関東事業所での自動車燃料使用量、廃棄物排出量は本社データに組み入れ済。電力、水道については倉庫も含め多くなっているため、基準年度を2017年度とした。

※3) 化学物質は、ベントナイトペレット、ペルプラグ (P R T R 物質の使用は該当なし)

□環境経営目標・実績

項目		年度	2017年度 (基準年)	2019年		2020年	2021年
			(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂		16,064	15,903	11,326	15,823	15,743
	基準年比		100%	99.0%	70.5%	98.5%	98.0%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂		237,042	234,672	246,621	233,486	232,301
	基準年比		100%	99.0%	104.0%	98.5%	98.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		253,106	250,575	257,947	249,309	248,044
一般廃棄物の削減	t		2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
	基準年比		100%	99.0%	100.0%	98.5%	98.0%
産業廃棄物の削減	t		78.2	77.4	65.9	77.0	76.6
	基準年比		100%	99.0%	84.3%	98.5%	98.0%
節水	m ³		1,451	1,436	1,418	1,429	1,422
	基準年比		100%	99.0%	97.7%	98.5%	98.0%
グリーン購入			推進中				
労働災害撲滅	事故数		0	0	0	0	0
化学物質管理			適正管理				

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境経営計画	結果	継続/変更	評価、次年度の取り組み内容
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・空調温度の適正化（冷房28℃、暖房20℃）	◎	継続	使用量（kWh）は基準年度比で約12%の削減、CO ₂ 排出量は基準年度比で約30%削減できている。電灯のLED化や昼休みの消灯などその効果は上がっている。
・昼休みの消灯	◎	継続	
・OA機器の省エネモード設定	◎	継続	
・不要照明の消灯	◎	継続	
・照明の低電力化	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	×	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・駐停車中のエンジン停止（アイドリングストップ）	○	継続	CO ₂ 排出量（絶対値）は基準年度比で4%増加したが、売上高原単位では基準年度比でほぼ目標達成している。今後もエコドライブに心掛ける。
・急発進、急加速の排除	○	継続	
・タイヤの空気圧を定期的に確認	△	継続	
・ハイブリッド車の導入	○	継続	
産業廃棄物（汚泥）の削減			
数値目標	◎	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・分別の徹底	◎	継続	基準年度に対して約16%削減している。引続き環境負荷の低減に取り組む。
・リサイクル業者の開拓	◎		
節水			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・ホースに手元バルブを取り付け流し放しを防止する	○		基準年度比で2.3%削減し、目標達成している。
・蛇口をシャワー型にするなど使用水量を減らす	○		
・雨水の利用			
グリーン購入			
・グリーン購入比率の向上	○	継続	引き続き購入比率向上に努力する
労働災害撲滅			
労働災害0	○	継続	0災害の目標は達成している。
社会貢献			
・周辺道路の清掃を行っている。	◎	継続	引き続き、環境負荷の低減に取り組む。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
・自動車NO _x ・PM法による車種規制	・全車種
・廃棄物処理法	・残土、泥水など
・フロン排出抑制法	・第1種特定製品
・資源有効利用促進法	・パソコンの廃棄、コア箱の再利用など

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、環境当局よりの違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し

2019年度の事業活動において、電力については、基準年の値より電力消費量で約12%、CO2排出量で約30%削減することに成功した。この結果については、電灯のLED化及び会社のスタッフ全員のこまめな電力削減活動が成果に結び付いたと思われる。

自動車燃料のCO2排出量については、基準年に対しガソリン2.5%削減、軽油で6.5%上回る結果となっている。ガソリン車においては、随時ハイブリッド車に交換し燃費の改善に取り組んでおり、効果が発揮されているものと思われる。トラックの燃料となる軽油については、トラックの使用台数増加の影響がうかがえる。売上増加を考慮した場合でも、車両の燃料の削減につきこれまで以上の対策を要する。

弊社の事業活動として、日本各地に赴く機会が多く、この傾向は年々増加する傾向にあり、必然的に本社が在住する近畿圏より西は九州方面、東は東北及び北海道方面までの車両移動を要する。

東方面については、関東事業所を拠点として事業活動を行っているが、九州方面については、近年業務の需要がたかまってきたことから、車両による移動に伴い、燃料の消費増大及び交通事故のリスクも増える傾向にあることから、九州の佐賀県鳥栖に土壤汚染調査機を収納出来る倉庫を借り、車両による移動の削減に努める。

これにより、従業員の長時間運転の削減に取り組むことで、働き方改革の一環としたい。

産業廃棄物については、基準年に対し約26%の削減が達成され、日々の活動の成果が出ている。

水道使用量については、基準年に対し2.3%削減され、目標達成している。月単位でみると、一部の月で目標を上回る月がみられるが、夏季の省エネとして社屋周囲の緑化をしていることや、花壇への水やりが影響していることが推察される。緑化等も重要であることから、雨水利用などにより水道使用量の削減に努力する必要がある。

環境経営方針	■変更なし	□変更あり
環境経営目標・計画	■変更なし	□変更あり
実施体制	□変更なし	■変更あり

2020年9月30日
株式会社メーサイ
代表取締役 中野真治

□次回環境レポート
発行予定
令和3年9月